

当たり前ではなくなっ
て気付いた感謝

南魚沼市立八海中学校

三年 羽吹 歩 夏

「今日、ご飯炊いておいてって頼んだけど炊いておいでくれた？」

「え、そんなのきいてないよ。」

半年くらい前から、祖母の物忘れは激しくなっていました。半年前は、台所にあるものや食器の位置を完全に把握して、テキパキと家事をこなしていました。が、最近では、ときどき物の位置がわからなくなり、「ご飯茶碗ってどこにあるっけ？」

と私や家族に聞き、

「左の食器棚の中だよ。」

という会話が増えていました。

私は正直、祖母が頼んだことを忘れて、すぐ思い出せないときに、またか。と思うこともありました。家族も、あきれたような感じでした。

また、二年くらい前から祖母は背骨が数か
所もつぶれていて腰が悪く、自分で注射を打
って治療しています。祖母はよほど腰が痛い
のか、
「腰が痛い、腰が痛くて歩くのもやっこのこ
とだ。」
と毎日言っています。私が五歳くらいのとき
は、夏は庭にビニールプールを広げて、一緒
に遊んでくれたり、目隠しをしてすいか割り
もしました。冬は、自分たちよりも高く積も
った雪の中に、大きなかまくらや雪の階段を
慣れた手つきで作って、私をたくさん楽しま
せたり、驚かせたりしてくれました。ですが
今では、階段の上り下りやしゃがむ動作もき
びしいため、遊んでくれることはほぼなくな
りました。
祖母と遊んだりする回数が減り、歩くのも
つらそうな祖母を見たときは、とても心配で
たまりませんでした。
ですが、祖母も自分でも気が付いているよ

うでした。頼んでおいたことを忘れてしまっ
たときに、
「ごめんね、すぐ思い出せなくて。」と謝って
きたことがありました。そこで私は、とても
申し訳ない気持ちになりました。前まで、心
の中でまたか……。と思っていた自分に反省し
ました。
それでも、祖母は頑張って毎日家事をこな
してくれています。私の家は、母が仕事をし
ているときは、祖母しか家にいません。
毎日、とても忙しいのに朝ご飯を私が食べ
る前に用意しておいてくれたり、妹のわがま
まにつきあたりしてくれています。
私が大会で朝が早いときも、私が行くとき
には、
「いってらっしゃい、頑張ってきてね。」とい
つも応援してくれます。
そんな大切な祖母には、感謝でいっぱい
です。これまでの感謝とこれから感謝を長い
時間をかけて全部返していきたいと思います。
なの

で、長生きしてもらいたいです。祖母は今年で、七十二歳になりました。頼んだことは忘れるかもしれませんが、小さいときの私や家族との思い出はおぼえていて、ときどき話しています。私は今まで、祖母からたくさん愛情をもらいました。今度は、私が返す番です。祖母が困っている様子が見られたら、声をかけたがり、手伝ったりしたいです。一緒に料理や大得意な草取りなどもできるといいと思っています。ます。これからは、できる限り一緒に過ごして、祖母を支えていきたいです。また、高齢者にとって会話をすることや意欲や能力に応じて、やりたいことをできるような環境を整えることは重要です。なので、祖母の若い頃の話を大切に聴いてみたい、もう少し大きくなったら高齢者施設のボランティアに参加して、できる限り生きがいを見つけてもらえるように活動したいです。これからも、祖母ができる範囲でいろんな

範囲でいろんなことに挑戦してみたり、旅行
に行ったりして楽しい思い出をつくっていき
たいです。
何十年後の祖母の心に思い出としてたくさ
ん残り続けるように：
。